

がんばってます！

シニア東北オープン大会70歳以上の部に準優勝

福田 興司

リタイヤ後、第2の人生を如何に過ごそうか？ 試行錯誤した結果を11年経た現時点で振り返ってみた。

1. ゴルフ：現役時代に考えていたことは、リタイヤしたら毎日が日曜日なので、いつでも練習が出来て月例会にも出られると思っていたが、1年間トライして腕も上がらなかったの、きっぱり諦めた、ゴルフは忙しい合間を縫ってやるほうが面白いと気付いた。
2. 海外旅行：バックパッカーとして、30カ国位回って見聞を広めたが、数回トラブルに遭い、今は見合わせている。
3. 放送大学入学：テレビや前橋学習センターで3年間学習、半分くらい単位を取ったが、興味を失い断念。
4. テニス：現役時代も真似事程度にやっていたが、ゴルフをやめた後テニスクラブに加入して基礎から始めた、ねりんピック群馬大会に、石尾延也氏とペアーを組み初出場、強豪を破り初優勝、これを契機にのめり込み週4日の猛練習、メタボも解消。また、シニア全国大会にも出場し5勝1敗、しかし準決勝進出直前に惜敗。H23年10月仙台市で開催された第14回シニア東北オープン大会70歳以上の部に、桐生市の柳原武夫氏とペアーで出場、準優勝(上の写真)
5. これから：小中学生にもテニスのアドバイスを出来るよう精進したい。身体を酷使して、ぴんぴんころり狙いです。



がんばりました！

ボランティア楽団の晴れ舞台

篠崎 辰夫

いつもは、お年寄りの施設慰問や地域の行事に参加して演奏活動をしているが、突然、市の音楽祭に出場してみないかという話が持ち上がった。寄せ集めの楽団で、とても音楽祭というレベルではない。それに大ホールの大舞台。不安いっぱいだったが、メンバーの中に熱心な人がいて結局その人に引っ張られた。音楽祭まで半年、猛練習が始まった。見た目も大事と、お揃いの「ハッピー」も新調した。ところが、本番近くなってメンバーの一人がストレスからかずっと微熱と下痢が続いて体調絶不調。練習も十分出来ず一時は出場が危ぶまれた。それでも前日の会場リハーサルで、心配していた音響と、5分以内の機材セッティングをクリアし、なんとかやれる自信を得た。しかし一人の体調不良はまだ続いていた。

平成23年11月3日。文化の日。「第6回熊谷市妻沼音楽祭」。妻沼中央公民館大ホール。出場は18組。1組の持時間は15分。・・・いよいよ出番。機材のセッティングで弾んだ息を整える間もなく、すぐ演奏。会場の人たちも一緒に歌ってくれている。いいムードだ。係の「あと5分」という合図も気がつかないままあっという間に演奏は終わった。そのあと一人は、舞台の袖に倒れ込んだ。・・・良くがんばりました。



ちなみに演奏曲目は
「星の世界」
「北上夜曲」
「南国の夜」
「瀬戸の花嫁」
「雪が降る」の5曲

NETでご覧の方は、写真下のURLをクリックするとYouTube動画が開きます。まだまだ拙い、恥ずかしい演奏ですが、もしよかったですらご覧下さい。

<http://www.youtube.com/embed/D-Bxe2FWjuc>